

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-75	中学校	国語科	国 語	第3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 930	伝え合う言葉 中学国語 3		

1. 編修の趣意及び留意点

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～第5号）」と、学習指導要領に示された教科目標の達成を旨とし、以下の方針に基づいて編修しています。

☆国語で扱う三つの領域（教材例）

<p>「広告を批評する」活動を通して、幅広い知識と教養を身に付けます。(p.38)</p>	<p>○話すこと・聞くこと 話を聞いて自分の表現に生かす……………54 スピーチで学びを振り返る……………182 課題を解決するために話し合う……………188 「対話力」とは何か……………192</p> <p>○書くこと ●広告を批評する……………38 図表などの資料から文章を書く……………98 和歌の鑑賞文を書く……………122 ●自己PR文を読み合う……………180 自分の作品集をつくる……………196</p> <p>○読むこと 私……………24 ●無言館の青春……………60 旅への思い……………104 故郷……………162</p>	<p>国際的な問題に対して「課題を解決するために話し合う」活動を通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(p.189・195)</p>
<p>自己PR文を読み合うことを通して、自己の価値を尊重し、自主自律の精神を養います。(p.180)</p>	<p>戦没画学生に関わる文章を読み、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。(p.62)</p>	<p>歴史から生きる力のあり方を考える教材を通し、我が国の伝統と文化を尊重する心を育てます。(p.84)</p>



世界的・宇宙的な視点から人類の未来を考えることを通して、主体的に社会の形成に参画する態度を養います。(p.88～89)



歴史は失われた過去か
歴史から生きる力のあり方を考える教材を通し、我が国の伝統と文化を尊重する心を育てます。(p.84)

☆国語科の三つの領域を支える一つの事項

〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕

〔古典教材〕生徒に親しみのある教材と、豊富な写真、及び、資料を掲載し、我が国の伝統文化を尊重する態度を育むことができるよう考慮しています。

現代でも多くの名句・名歌が幅広い世代で親しまれている『おくのほそ道』『万葉集・古今和歌集・新古今和歌集』や、独特の表現形態をもつ「漢詩」では、作品を声に出して読んだり、図版や写真などの資料を充実させたりすることで、学習者の興味と関心を喚起します。また、古典教材の次に、近代文学へと学習者をいざなう読書教材を設けたり、日本の豊かな四季と言葉を結びつける美しい写真とともに構成した「四季のたより」を設定したりするなど、古典から現代へとつながる豊かで幅広い知識と教養を身に付けられるよう配慮しています。

〔言語教材〕言葉に関する幅広い知識と教養を、日常生活の中から楽しく身に付けられるよう、脚本仕立てのコラムを、導入ページとして設定しました。

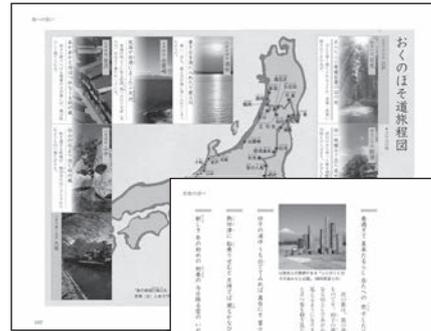
〔巻末折込・見返し〕

教科書巻末の折込、見返しには、教室の実態に合わせて、日本の伝統的な言語文化についての幅広い知識と教養を育み、我が国の伝統と文化を尊重する態度を育てることに寄与する豊富な資料を掲載しています。

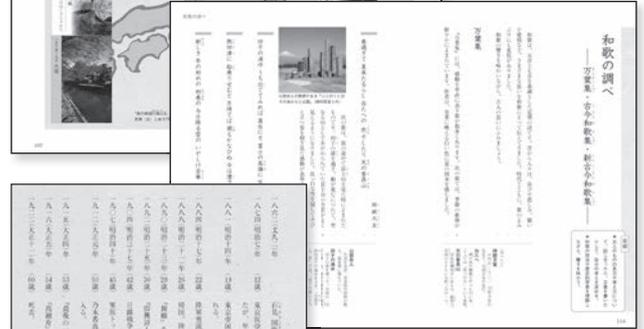
- ①『古典文学史年表』では、日本の古典文学の代表作を紹介。
- ②『古典作品へのいざない』では、『古今和歌集』の「仮名序」と『土佐日記』の冒頭を掲載。
- ③『伝統芸能へのいざない』では、狂言の基礎知識を丁寧に紹介。
- ④『社会・自然に向き合う』では、中世から現代にわたって読み継がれ、生徒の道徳心を育む日本の名著の一節を多数紹介。
- ⑤『「ふるさと」を巡る』では、文学作品にゆかりのある風景を、3学年にわたって都道府県別に紹介。文学を通して郷土を愛する心を育みます。

▶見返し⑭～⑮

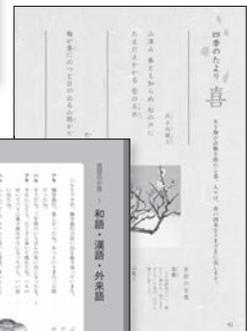
▼p.106～107



▼p.114～115



▼p.42



▲p.147



▶p.58

◀巻末折込④～⑤

時代	文学	音楽	舞踊	絵画	書道	建築	工芸	科学	宗教	思想	政治	社会
古墳時代												
奈良時代	万葉集											
平安時代	古今和歌集、源氏物語、枕草子											
鎌倉時代	源氏物語平家物語、徒然草											
室町時代	山崎闇斎、山崎闇斎											
徳川時代	浮城物語、浮城物語											
江戸時代	浮城物語、浮城物語											
明治時代	浮城物語、浮城物語											
大正時代	浮城物語、浮城物語											
昭和時代	浮城物語、浮城物語											
平成時代	浮城物語、浮城物語											
令和時代	浮城物語、浮城物語											

▼巻末折込⑨～⑩



▲巻末折込 ⑪～⑫

2. 編修の基本方針

本教科書は、**教育基本法第二条に示す教育の目標及び学習指導要領の目標**を達成するために、構成・内容と教材の選択について、以下のような方針で編修しました。

<p>☆生徒が表現の豊かさや美しさを感じ取ることができるように、幅広い知識と教養を身に付けられる構成・内容としました。</p> <p>☆生徒一人一人が個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うように配慮しました。</p>	構成・内容	<p>☆各領域とも幅広い言語活動を通して、国語の学習の基礎的・基本的な能力や思考力・判断力・表現力を育成することができるように、系統的な単元構成・内容としました。</p> <p>☆さまざまな言語活動を通して、言葉への興味・関心を喚起するように配慮しました。</p>
<p>☆友達と話し合ったり、書いたりする活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるものを精選しました。</p> <p>☆我が国と郷土、日本語を愛するとともに、現代の私たちと古人との言語文化の共通点や相違点を探ることのできる教材と資料について考慮しました。</p>	教材の選択	<p>☆教材は、古今東西の名作をはじめ、幅広いジャンルの中から話題を選び、親しみやすかつ学習指導要領の各指導事項に即したものを精選しました。</p> <p>☆我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの、今ふれてもなお、いにしへの時代に思いをはせることができるものを厳選し、掲載しました。</p>

3. 対照表

図書の内容・構成と**教育基本法第二条の第1号から第5号**との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

領域	あてはまる教材名	特に意を用いた点や特色	該当箇所
話すこと・聞くこと	話を聞いて自分の表現に生かす	●「今を大切にすること」という話を聞いて自分の表現に生かすことによって、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばそうとする態度や自主および自律の精神を養うことができるよう配慮しました。(第2号)	p.54～55
	スピーチで学びを振り返る	●「中学校で学んだこと」をスピーチし学びを振り返ることによって、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるよう配慮しました。(第1号)	p.182～184
	課題を解決するために話し合う／「対話力」とは何か	●国際的な問題に対して取り組むために「課題を解決するために話し合う」ことを通して、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号) ●環境問題を話題とした討論を通して、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第4号)	p.188～191 / p.192～195
書くこと	広告を批評する	●「広告を批評する」ことによって、現実の世界に対して幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるよう配慮しました。(第1号)	p.38～39

領域	あてはまる教材名	特に意を用いた点や特色	該当箇所
書く(1)	図表などの資料から文章を書く	● 図表などの資料をもとに文章を書くことによって、社会の仕組みを理解し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第3号)	p.98～99
	和歌の鑑賞文を書く	● 「和歌の鑑賞文を書く」ことによって、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号)	p.122～123
	自己PR文を読み合う	● 「自己PR文を読み合う」ことを通して、自己の尊厳と価値について考え、その能力を伸ばそうとする態度を養い、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮しました。(第2号)	p.180～181
	自分の作品集をつくる	● 自分自身が書いてきた文章を見直し、編集する活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるよう配慮しました。(第2号)	p.196～198
読む(1)	春に	● 春をめぐる新鮮な心の揺れを題材とした優れた詩を読むことを通して、豊かな情操を培うことができるよう配慮しました。(第1号)	p.14～15
	立ってくる春	● 季節と言葉、生活の関係を話題とした作品を読むことを通して、豊かな四季の恵みのある我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号)	p.18～22
	私	● 社会で生きていくことは、「私」とは何かという問いを考え続けることでもあり、「私」を考えることを通して真理を求める態度を養うことができるよう配慮しました。(第1号)	p.24～37
	「新しい博物学」の時代	● 理科系と文科系の幅広い知識と教養を横断的に関係させて知をとらえ直し、新しい視点で両者を連携的にとらえる論法を読むことを通して、真理を求める態度を養うことができるよう配慮しました。(第1号) ● 我が国の古典文化や、シェークスピアなどのヨーロッパの文化も取り入れて論じている文章を読むことを通して、我が国や他国の文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号)	p.44～52
	無言館の青春	● 若くして戦争で命を落とした若者たちの青春に思いを馳せることで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう配慮しました。(第3号) ● 戦争と平和をテーマに、戦没画学生慰霊美術館について書かれた文章を読むことを通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号)	p.60～71
	情報を編集するしかけ —メディアにひそむ 意図—	● 報道されている内容は第三者によって再構成された事実であることを学ぶことを通して、真理を求める態度を養うことができるよう配慮しました。(第1号) ● 日食について取り上げた報道番組と新聞を教材とすることで、自然現象に興味をもち、また、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第4号)	p.72～79
	歴史は失われた過去か	● 文化の中で自然のもつ要素にふれ、その重要性について示唆している内容の文章を読むことを通して、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第4号) ● 「歴史の記憶」というキーワードを用いながら、「生きる力」のあり方を論じる未来展望的な論説文教材であり、我が国の伝統と文化の持っている力を最大限に尊重する記述の態度から、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号)	p.84～87
	文化としての科学技術	● 宇宙飛行士として、世界的・宇宙的な視点から、正義と責任をもって人類の未来を展望しようとしている筆者の文章を読むことを通して、公共の精神のあり方、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第3号) ● 全編を通じて示されているグローバルな視野を捉えることを通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号)	p.88～96
	最後の一句	● 「願い書」をしたためた「いち」の行動を読むことを通して、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮しました。(第2号) ● 近代以降の日本を代表する作家の名作を読むことによって、我が国の伝統文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号)	p.130～149
	近代の俳句	● 優れた表現で書かれた近代の俳句を読むことを通して、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を培うことができるよう配慮しました。(第1号) ● 日本の優れた詩歌、中でも近代の俳句にふれることを通して、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号)	p.156～159
	初恋	● 著名で優れた近代の詩を読むことを通して、幅広い知識と教養を身に付けたり、豊かな情操を培うことができるよう配慮しました。(第1号) ● 日本の優れた詩歌、中でも近代の詩にふれることを通して、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号)	p.160～161
	故郷／バースデイ・ガール	● 変わりゆく時代や社会において、その変化の影響を受けながらも、生きることの意味とは何かという普遍的な問いを投げかけ、生きることの意味について考えることを促す近代の作品を読むことを通して、正義と責任、自他の敬愛と協力、主体的に社会に参画する態度などを養うことができるよう配慮しました。(第3号)	p.162～179 / p.200～217
	花を贈る	● 生命や存在について考える文章を読むことを通して、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮しました。(第1号)	p.218～221
	自分自身に	● 自己肯定感を高めるすぐれた詩を読むことを通して、個人の価値を尊重してその能力を伸ばすことができるよう配慮しました。(第2号)	p.222～223
	言葉でつかんだ世界—	● 試練を乗り越えて生きる作者の文章を読むことで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を育むことができるよう配慮しました。(第3号)	p.224～225
	旅への思い—芭蕉と「おくのほそ道」— / 和歌の調べ—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集— / 風景と心情—漢詩を味わう—	● 我が国の伝統や文化、及び中国の文化について理解を深めたり幅広い教養を身に付けたりできるように教材を選定するとともに、図や写真を掲載するなどしてさまざまな工夫を施しました。(第5号)	p.104～121 / p.124～129
国語の特質	● 日本語に関する基本的な知識と教養を通して、日常用いる言語を客観的に分析し、社会性や法則性に自ら気づくことができるよう配慮しました。(第1号) ● (和語・漢語・外来語) 日本語の中に多様な国際的な要素が含まれていることを学ぶことを通して、我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号) ● (敬語) 敬語の知識と適切な使用について学ぶことを通して、自他の敬愛を重んじ、主体的に社会に参画する態度を育成できるよう配慮しました。(第3号)	p.58/80/100/ 81/101 p.228～259	
付録	● 狂言についての解説や先人の言葉の紹介を通して、伝統的な言語文化についての知識や教養を高めることができるよう、さまざまな工夫を施しました。(第5号)	巻末折込	

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された義務教育の目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

☆特色1 見やすく、わかりやすい紙面

全体を通しての統一感や一体感、読みやすさ、わかりやすさを意識したフォントやレイアウト、安心感と安定感のある色づかい、トーンバランスを心がけました。

☆特色2 小学校国語や高等学校国語との関連

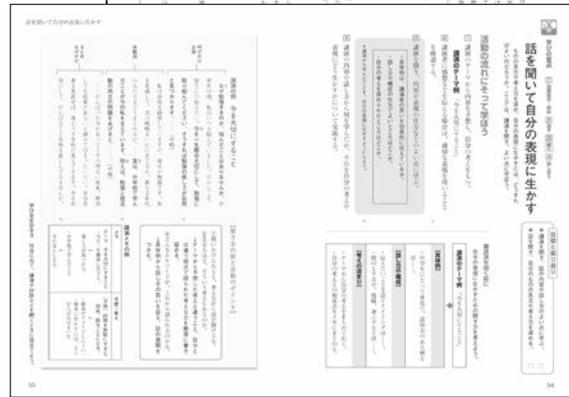
第1学年では、中学校での国語の学びを励ます詩、小学校国語で学んだことの振り返りと中学校国語で学ぶことを学習の「導入単元」として設置し、小学校国語と中学校国語の無理のない接続を目指しました。また、幅広いジャンルから多数の図書を取り上げ、読書を通して国語の基礎的な能力を養い、生活を明るく豊かにするよう図りました。さらに、第3学年では、高等学校「国語総合」でよく取り上げられる作者・筆者の作品を集めた「送り出し単元」を設定し、高等学校国語との接続も意識しました。

☆特色3 学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応…色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。カラーユニバーサルデザイン(CUD)は第三者機関による審査及び認証を受けています。

環境への配慮…教科書の印刷にはグリーン電力を使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。また、再生紙と植物油インキを使用しています。

▼p.18~19



▲p.54~55

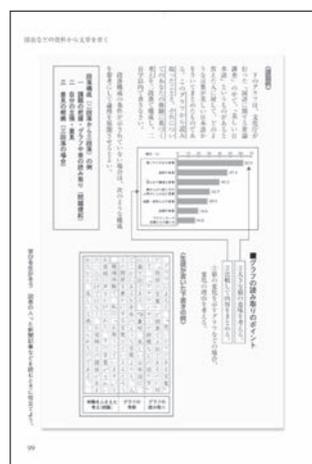
▼p.218



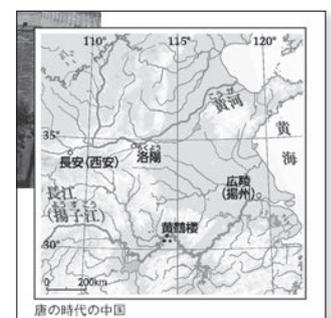
▼p.200



▼p.99



▼p.127



編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-75	中学校	国語科	国 語	第3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 930	伝え合う言葉 中学国語 3		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書では、学習指導要領の目標及び内容を、具体的な活動を通して達成することを目指しました。特に以下の点に意を用いて編修しています。

○「言語能力」と「話題」を組み合わせた、新たな国語単元の創造

- 一年間の学習を、各領域の学習内容や活動過程に即して単元ごとに設定しています。また、各教材の学習内容の重点や言語活動の過程を明確に示し、学びが具体的に見えるように図りました。

〔1学期〕

第1単元

1 言葉を探る

ふだん使っている言葉には、どんな意味やはたらきがあるのかについて、思考や想像をめぐらせます。



第2単元

2 関係を生きる

工夫された表現が生み出すものごとの新しい関係を読んだり、自分の表現に生かしたりします。



第3単元

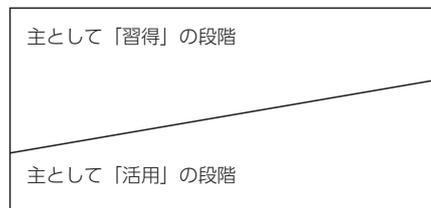
3 歴史をひらく

未知の世界と自分とを結びつけたり、情報を組み合わせたりして、さまざまに解釈し活用します。



○単元展開のイメージ

4月 → 3月



学習のスパイラル

▼p.38



▼p.31



▼p.45



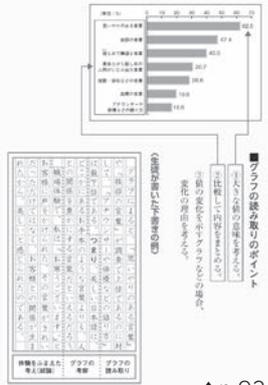
◀p.66~67

[2学期]

第4単元

4 論理を問う

文章や資料を比べることで筆者の論理を問い、新しい自分の考えを獲得します。



▲p.92

▶p.84



◀p.92

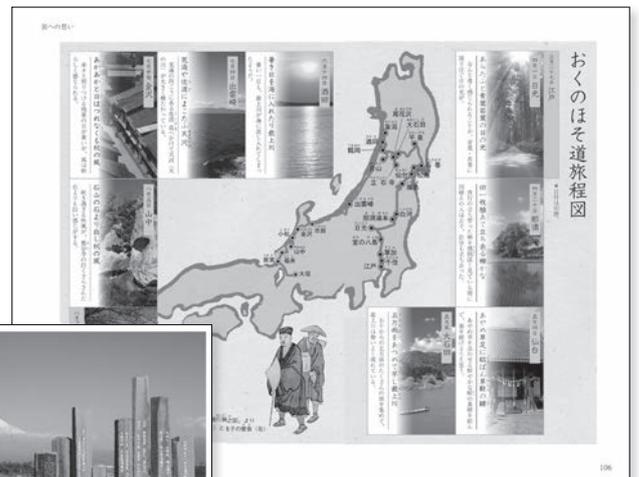
第5単元

5 文化をつなぐ

古典を受け止めるだけでなく、その魅力を見いだして、自分の言葉で次の世代に伝えていきます。



▲p.117



▲p.106~107

第6単元

6 語りと向き合う

表現を通して自己や世界を捉え直すことにより、一人一人の豊かな思考や想像が始まります。

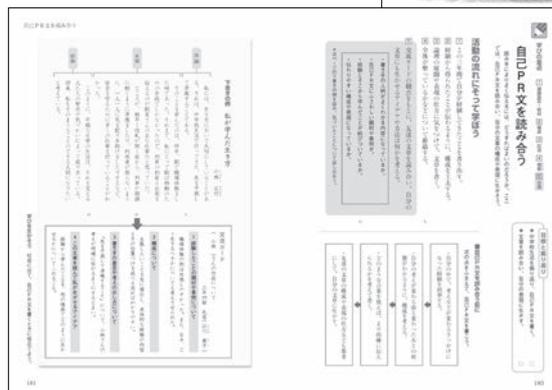


◀p.115

▼p.175



▼p.160



◀p.180~181

[3学期]

第7単元
(送り出し単元)

7 対話をひらく

これまでに出会ってきた言葉、向き合ってきた言葉、さまざまな言葉を支えに、未来に踏みだす意欲を喚起します。



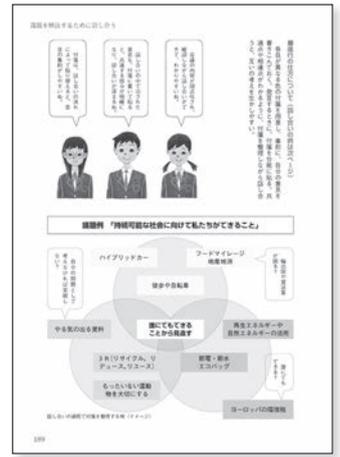
▼p.218



▼p.192



▼p.189



新たな
世界へ

▼p.200



▼p.198



○思考力・判断力・表現力を高める、新しい「学習の手引き」の開発

- 課題を発見し、自分で考え、解決する、という課題解決の道筋にそって学習が進められるように、「学習の手引き（みちしるべ）」を構成しました。また、学習のポイントをわかりやすくまとめたコラム「ここが大事」を設定したり、表現領域や言語教材との関連、関連図書の紹介を示したりするなど、思考力・判断力・表現力を高める工夫をしました。

▶p.177



〔「学習の手引き」の構成〕

目標と振り返り 教材の目標と自己評価

確かめよう 情報の取り出し（何がどう書かれているか）

深めよう 内容の解釈（なぜそう書かれているか）

考えよう 考えの形成・表現（自分はどう考えるか）

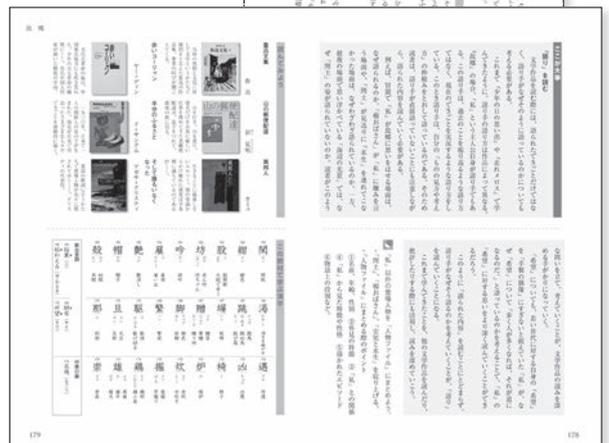
ここが大事 学習の重点

言葉・表現 言葉と文章内容・表現との関連学習

領域関連 「話すこと・聞くこと」「書くこと」との関連学習

読んでみよう 教材に関連する図書紹介

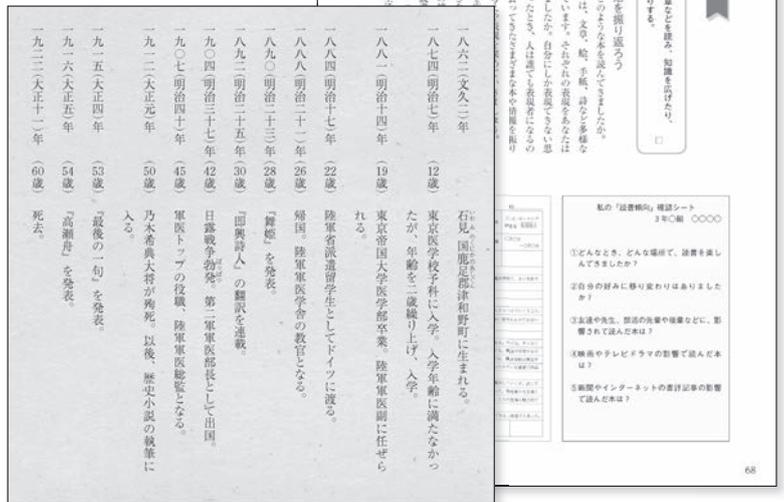
▼p.178~179



○「情報活用」と「近代文学」の2系統で設定された読書教材

- 具体的な読書交流の言語活動を通して、多様な情報活用の力が身に付くように図っています。
- 我が国を代表する作家や作品にふれ、名作の世界に興味をもつように図っています。

▶p.68



▶p.147

○豊富な写真と充実した周辺資料を備えた、ビジュアルで親しみやすい古典教材

- 多様な古典作品について、文章だけでなく、関連する写真や図版などの豊富な資料を掲載し、今日まで受け継がれている作品の価値を認識できるように構成しました。
- 四季折々にまつわる作品や行事、先人が残してきた言葉などを通して、古典の世界に多角的にふれることができるようにしています。

▶p.42



▲折込⑪~⑫

▶p.111

☆ 学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。カラーユニバーサルデザイン（CUD）は第三者機関による審査及び認証を受けています。

環境への配慮

教科書の印刷にはグリーン電力を使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。また、再生紙と植物油インキを使用しています。

2. 対照表

教科書の単元配列	配当時数 ()内は、含まれる 領域の時数	学習指導要領の内容	該当箇所
一 言葉を探る 【詩】春に 谷川俊太郎 対話への扉 一言でまとめ一言から広げる 【随筆】立ってくる春 川上弘美 【小説】私 三崎亜記 広告を批評する 漢字の広場1 呉音・漢音・唐音 四季のたより 喜	1 話聞1 2 4 書3 1 *	C(1)ア・ウ A(1)ア・イ、(2)ア C(1)ア、(2)ア C(1)イ・エ、(2)ア B(1)ア、(2)ア 伝国(1)ウ(ア)・(イ) 伝国(1)ア(ア)	14～15ページ 16ページ 18～22ページ 24～37ページ 38～39ページ 40～41ページ 42ページ
二 関係を生きる 【評論】「新しい博物学」の時代 池内 了 話を聞いて自分の表現に生かす 漢字の広場2 熟字訓 言葉の小窓1 和語・漢語・外来語	5(話聞1) 話聞3 1 1	C(1)ア・イ・ウ、(2)イ/A(1)エ A(1)ウ、A(2)ア 伝国(1)ウ(ア)・(イ) 伝国(1)イ(イ)	44～52ページ 54～55ページ 56～57ページ 58ページ・ 228～230ページ
三 歴史をひらく 【読書】無言館の青春 窪島誠一郎 【メディア】情報を編集するしかけ —メディアにひそむ意図— 言葉の小窓2 慣用語・ことわざ 文法の小窓1 活用のない付属語 四季のたより 涼	2 3 1 2 *	C(1)オ、(2)ウ C(1)ウ・オ、(2)イ 伝国(1)イ(イ) 内容の取扱い2(1)ア 伝国(1)ア(ア)	60～71ページ 72～79ページ 80ページ・ 231～233ページ 81ページ・ 237～243ページ 82ページ
四 論理を問う 【論説】歴史は失われた過去か 内山 節 【論説】文化としての科学技術 毛利 衛 図表などの資料から文章を書く 言葉の小窓3 敬語(社会の中での活用) 文法の小窓2 活用のある付属語	3 5(書2) 書4 2 2	C(1)イ・ウ・エ、(2)イ C(1)イ・ウ・エ、(2)イ/B(1)ア B(1)イ、(2)ア 伝国(1)イ(ア) 内容の取扱い2(1)ア	84～87ページ 88～96ページ 98～99ページ 100ページ・ 234～236ページ 101ページ・ 244～249ページ
五 文化をつなぐ 【古文】旅への思い—芭蕉と『おくのほそ道』— 【古文】和歌の調べ—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集— 和歌の鑑賞文を書く 【漢文】風景と心情—漢詩を味わう— 【読書】最後の一句 森 鷗外 漢字の広場3 異字同訓 四季のたより 深	3 4(書1) 書3 3 2 1 *	伝国(1)ア(ア)・(イ) / C(1)ア、(2)ア 伝国(1)ア(ア)・(イ) / C(1)エ、(2)ア/B(1)イ B(1)ウ 伝国(1)ア(ア) / C(1)ア C(1)オ、(2)ウ 伝国(1)ウ(ア)・(イ) 伝国(1)ア(ア)	104～113ページ 114～121ページ 122～123ページ 124～129ページ 130～149ページ 152～153ページ 154ページ
六 語りと向き合う 【俳句】近代の俳句 【詩】初恋 島崎藤村 【小説】故郷 魯迅 竹内 好 訳 自己PR文を読み合う スピーチで学びを振り返る 漢字の広場4 四字熟語	2(書1) 1 7(書1) 書2 話聞2 1	C(1)イ・ウ、(2)ア/B(1)エ C(1)イ・ウ C(1)イ・ウ・エ、(2)ア/B(1)ア B(1)エ A(1)ア、(2)ア 伝国(1)イ(イ) / (1)ウ(ア)・(イ)	156～159ページ 160～161ページ 162～179ページ 180～181ページ 182～184ページ 185～186ページ
七 対話をひらく 課題を解決するために話し合う 「対話力」とは何か 多田孝志 自分の作品集をつくる 四季のたより 静 【小説】バースデイ・ガール 村上春樹 【随筆】花を贈る 鷲田清一 【詩】自分自身に 吉野 弘 言葉と仕事 言葉でつかんだ世界— 国枝慎吾	話聞4 話聞1 書4 * 2 1 1 *	A(1)エ、(2)イ A(1)エ、(2)イ B(1)ア・イ・ウ・エ、(2)イ 伝国(1)ア(ア) C(1)ウ・オ、(2)ウ C(1)ウ・オ、(2)ウ C(1)ア、(2)ア C(1)オ	188～191ページ 192～195ページ 196～198ページ 199ページ 200～217ページ 218～221ページ 222～223ページ 224～225ページ
言葉と文法 文の組み立て 文法的に考える	* *	内容の取扱い2(1)ア 内容の取扱い2(1)ア	250～253ページ 254～259ページ

(計) 話聞 12時間
 書 21時間
 計 90時間 (*印の教材は、適宜扱う)

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-75	中学校	国語科	国 語	第3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 ―― 教出	国語 930	伝え合う言葉 中学国語 3		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
折込 ⑥・⑦	文語文法活用表	2	○内容の取り扱い 第3 3(2)ア 国語に対する関心を高め、国語を尊重する態度を育てるのに役立つこと。

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 2)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容